安藤豊作（あんどう とよさく）

4月からの消防体制は

質問 **新消防本部の準備状況は、また隣接市との相互支援体制は。**

答弁 **総務部長**
臼杵・竹田市との協議で、事務委託廃止に関して基本的合意に達している。
本部体制としては、管轄区域の変更など、さまざまな業務のすり合わせを行っており、消防車の購入や分署の建設も順調に進んでいます。
相互支援体制については、県常備消防相互応援協定に基づき、体制を整えています。

質問 **消防団組織の見直しと団員確保対策は。**

答弁 **総務部長**
現行の連合団制では広域災害において、指揮命令系統に遅れなどが懸念されます。
あらゆる災害に迅速（じんそく）に対応できる消防体制や消防力の向上を図るため、一市一団に向け、各消防団と協議を進めたい。
団員数は、定数を充足していない団や人口比率などを考慮し、機能別団員や分団の導入についても検討を重ねていきます。

▲急ピッチで工事が進む大野分署…４月に開設します

だいじょうぶ子どものいじめ

質問 **市内小中学校のいじめの実態とその対策は。**

答弁 **教育次長**
上半期、９校で26件が確認されました。
市内全校で全ての児童に面談やアンケートを実施し、より詳細な実態の把握（はあく）と早期対応に努めます。

宮成昭義（みやなり あきよし）

市の財政状況は

質問 **市税および国保税など含め、３億８６６７万円余りの未納があるがどうするか。**

答弁 **総務部長**
未納額については、財政基盤の確立を図るため徴収率向上に努めます。

質問 **新型交付税導入に伴う影響は。**

答弁 **総務部長**
新型交付税を導入した際の試算を行い、導入による影響額が生じないように調整を行っている段階です。

一芸職員の採用枠を

質問 **市職員の採用については特別枠を設けてはどうか。**

答弁 **市長**
一般行政職の採用は、３名程度としていますが、特別枠については、将来の課題として検討します。

学校教育について

質問 **障がいのある児童の現状と対策は。**

答弁 **教育長**
小中学校で29名の児童・生徒がいます。
今年度より発達障がいの児童に対する支援として、学習障がいや注意欠陥、多動性障がいのある児童を対象にした通級指導教室が設置され、個に応じた教育計画により、指導が行われています。

※その他
・基金の積立は
・生徒指導の見直し

▲昼休み、元気に遊ぶ子どもたち（清川小学校）
※本文とは関係ありません